

別紙 3

更新日 平成28年10月21日

平成28年10月日置市教育委員会定例会の結果について

|   |              |  |
|---|--------------|--|
| 1 | 日時           | 平成28年10月17日（月）<br>午後7時30分から午後9時まで  |
| 2 | 場所           | 日置市中央公民館 研修室2、3（2階）<br>日置市伊集院町郡一丁目100番地  |
| 3 | 議題及び審議会の結果概要 | <p>1 伊作小学校校舎建築工事請負契約締結の市長への意見具申について</p> <p>2 日置市社会教育に関する表彰について</p> <p>3 日置市いじめ防止対策連絡協議会委員の任命について</p> <p>1 については承認され、2 及び 3 については可決された。</p> |
| 4 | 出席委員         | 内村友治、比良信幸、折田智子、田代宗夫  |
| 5 | 公開・非公開の別     | 公開   |
| 6 | 傍聴者数         | 0人   |
| 7 | 問合せ先         | 日置市教育委員会教育総務課<br>電話248-9426（直通）  |

## 平成 28 年度 日置市教育委員会定例会（10 月）議事録

○日時：平成 28 年 10 月 17 日（月）19 時 30 分～21 時 00 分

○場所：日置市東市来支所 小会議室（2 階）

○出席者

委員：田代教育長、内村委員長、中島委員、折田委員、比良委員

事務局：宇田（事務局長）、松田（教育総務課長）、平地（社会教育課長）、  
豊永（学校教育課長）、福山（東市来支所教育振興課長）、丸田（日吉支所教育振興課長）、馬場（教育総務係長）

### 1 開会

内村委員長：それでは、定例教育委員会を始めたいと思います。

### 2 前回議事録の承認

内村委員長：前回議事録の承認ということで、修正があればお願いします。

（特になし）

内村委員長：特に無いようですので、前回の議事録は承認いたしました。

### 3 各委員及び教育長の報告

内村委員長：続きまして、各委員及び教育長の報告ということで、比良委員からお願いします。

比良委員：9 月 25 日（日）は伊集院北小学校の運動会に参加いたしました。開会式の準備や会場の設備など、先生方の指導がよくなされていたと思います。子どもたちもスタート前に点呼を受けていましたが、みんな元気よく挨拶をしていました。とても良い運動会だったと思います。

10 月 12 日（水）は、市小学校の陸上記録会に参加いたしました。この日はとてもよい天気で、各学校の整備もよくなされていて、代表の先生方が協力し合い、とてもスムーズに進行できていたと思います。

先日の南日本新聞に、伊集院北中学校が障がい者施設の運動会に参加したということが載っておりました。運動会の時にもみどりの里の入所者を呼んで交流していたので、その一環ではないかと思えます。とてもいいことだと感じました。以上です。

内村委員長：ありがとうございました。折田委員お願いします。

折田委員：吹上地域も3小学校の運動会が9月25日（日）にございました。天気もとてもよく、絶好の運動会日和でした。地区運動会との合同開催でしたので、地域の方々がたくさんいらして、こういった運動会も良いと改めて思うところでした。

10月14日（金）15日（土）は、関ヶ原町へ親善使節団として行きました。日置は土曜日が雨だったようですが、向こうはものすごく良いお天気でした。

また、今年の関ヶ原合戦祭りには、大河ドラマ「真田丸」に石田三成役で出演した山本耕史さんが来てトークショーをするということで、とても人が多かったです。実際のトークショーの時も石田三成の格好をして登場し、出陣式と武者行列に参加をするということで、とても豪華なイベントでした。

今年は、県が関ヶ原にすごく力を入れていて、トークショーも県の事業で行ったということです。また、30年度ごろには関ヶ原一帯も見渡せるような大きな展望台を県が作るということで、県もかなり力を入れているようでした。私も初めていかせていただきましたが、歴史とロマンのある大変良い町で、担当の方にもよくしていただいて、できれば姉妹都市として、市民レベルのツアーなども行えたらと思ったところでした。以上です。

内村委員長：ありがとうございました。中島委員お願いします。

中島委員：9月25日（日）に、伊作田小学校、湯田小学校、美山小学校の運動会に参加いたしました。開会式は伊作田小学校に出席いたしましたが、例年になく天気が良く、地域一体となって児童や地域の方々もすごく盛り上がった開会式でした。

美山小学校も少人数の学校でございまして、こちらはふるさと学園の子どもたちも参加していますが、率先して準備や道具の出し入れに動いて、地域の方々と一緒に汗を流していました。

9月11日から始まった各学校の運動会は、とても天気が良く、開会式で体調を崩す生徒が見受けられました。帽子の着用や、校長先生の話をして聞くなどの配慮があればよいと思いました。

10月9日（日）の東市来町民体育大会は雨天中止でしたが、この町民体育大会は、毎年高校2年生の子どもたちを対象に、各地域が応援団を結成するのですが、大会までの12日間、鶴丸の方も地区公民館で毎晩練習をしていて、保護者の方もパンやお菓子を持ってきていました。練習の応援にも参加させていただきましたが、素晴らしいものができて、当日は配慮を頂きまして、保護者の前でお披露目会を行いました。短時間ではありましたが、練習の成果がしっかり出ていて、例年にないまとまりがあったように感じました。来年もいい応援団が結成されれば良いと感じたところでした。以上です。

内村委員長：ありがとうございました。

私の方も、9月25日（日）に、日吉地域4校の運動会がございました。吉利、住吉、日新は地区公民館との合同運動会ということで、非常に地域と一体になった運動会がございました。4校とも来年は閉校運動会になるということで、来年に向けて話し合いも行われておりました。

10月6日（木）は、日置地区中学校の駅伝大会がございまして、男女ともに3位までが県大会出場ということで、最後まで一生懸命にリレーをしていました。天気も良く、素晴らしい大会だったと思います。

10月12日（水）は、陸上記録会がございましたが、小学生が非常に一生懸命頑張っている姿をみて、力強く感じました。

10月16日（日）は、日吉で豊年相撲大会がございまして、男子が40名、女子が37名、中学生が13名、高校、一般と熱戦が繰り広げられておりました。女子もまわしを付けて男子と相撲を取っていましたが、男子に勝るとも劣らない熱気で、女子も素晴らしい力を発揮するというので、会場も盛り上がりおりました。以上です。次に教育長をお願いします。

田代教育長：小学校、中学校の運動会と様々参加していただきありがとうございました。

9月24日（土）に、第1回日置市障害者福祉大会がございました。これまでは、ただの福祉大会のみでしたが、この大会とは別に障がい者の大会を初めて行うということで、多くの方がいらっしゃいました。障がい者の理解を深める大会としては、とてもよかったですと思います。オープニングにはジュニアオーケストラの演奏がございまして、講演は、元Jリーガーで、交通事故でマヒが残りながらも、現在は車いすバスケットの選手をしている方の講演でした。とても良いお話でした。

それから、市の美術協会が発足いたしました。ほとんどの方は知っているつもりでしたが、組織にしてみるとこんなにもたくさんの方がいたということで、挨拶に行った時も、色々な美術展がたくさんある中で、いいところをすべて集めてきたようなものであるとおっしゃっていました。また陶芸等も、西郷隆盛の末裔の方など、私が知らなかったような方がたくさんいらっしゃいました。

また、日置小学校の野添先生は、日本美術展覧会に入選するほどの先生で、現在は教頭をしております。現在パリに留学している日吉中学校の石原先生なども含めると、日置市にたくさんの美術の人材がいることを感じました。中央公民館の1階にございますので、機会があればぜひ見に行っていたきたいと思います。

10月8日（土）は住吉の十五夜がございました。毎年申し上げておりますが、朝早く手綱のもとを取りに行つて、自分たちで縄を作るのは、おそらく住吉だけではないかと思われます。そういった意味では非常に貴重な十五夜だったと思います。以上です。

内村委員長：ありがとうございました。

#### 4 議事

報告第16号伊作小学校校舎建築工事請負契約締結の市長への意見具申について

内村委員長：それでは、議事に入ります。

報告第 16 号伊作小学校校舎建築工事請負契約締結の市長への意見具申について説明をお願いします。

松田課長：報告第 16 号伊作小学校校舎建築工事請負契約締結について意見を求められ、臨時に代理し別紙のとおり回答したので、日置市教育委員会の行政組織等に関する規則第 24 条第 2 項の規定によりこれを報告するものでございます。4 ページをご覧ください。

伊作小学校の校舎建築工事につきましては、昨年の 10 月に臨時議会を開きまして、締結の本契約を行ったものでございますが、今回の変更契約につきましては、金額のみでございまして、4、5 ページが第 1 工区、9、10 ページが第 2 工区となっております。

今回の 1 工区の変更契約でございまして、変更後の金額が 402,732 千円として、10,368 千円を増額するものでございます。

2 工区については、変更後の金額を 434,063 千円としまして、15,023 千円を増額するものでございます。

6 ページの資料をご覧いただきたいと思いますが、これが伊作小学校の配置図でございまして、下側の方に仮設校舎が建っております。今度建築される校舎につきましては、元校舎があった場所を取り壊して、その後で作っているところでございます。

旧校舎の解体時期については、昨年の 12 月末が工期の完了ということでございまして、当時の 12 月 10 日に、1 日雨量が 120 ミリという季節外れの大雨が降りまして、校舎を解体した跡地が粘土質であったために、雨による水分を多く含んで、地下からの入水も発生したことから地盤のぬかるみとなりました。同日に住吉小学校の裏面が崩れたということもございました。

この状況が発生しましたことによりまして、これから申し上げる 2 点が工事の変更契約をしなければいけなかったところでございますが、まず 1 点目が、くい打ち機搬入のための地盤改良が必要になったということで、8 ページの赤と青に塗りつぶした図面があると思いますが、1 工区で改良面積が 1,218.762 m<sup>2</sup>、2 工区の改良面積が 1,279.29 m<sup>2</sup>ということで、この部分を地盤改良いたしました。

地盤改良についてはセメント系の硬化剤を入れまして、攪拌をして固めるというものです。そうしなければくい打ち機が入らなかったということで、これを追加工事として出したところでございます。

2点目は、地下からの湧水の処理が必要になったということで、7ページにも赤と青の線で囲っている部分がございますが、この部分に鉄製の矢板を打ちこんで、湧水を遮断して工事を進めたということで、1工区が176枚、2工区が295枚の矢板を打ち込んだということで、この2つが変更計画の中身でございます。

以上のことを市議会に説明をしまして、質疑は1点ございましたが、他に討論も無く議案は可決されました。以上で説明を終わります。

内村委員長：ありがとうございました。今説明がございましたが、何かご意見ご質問はございませんか。

(異議なし)

内村委員長：異議がないようですので、報告第16号伊作小学校校舎建築工事請負契約締結の市長への意見具申については、承認いたしました。

**【報告第16号 承認】**

#### 議案第14号日置市社会教育に関する表彰について

内村委員長：続きまして、議案第14号日置市社会教育に関する表彰について説明をお願いします。

平地課長：平成28年度日置市社会教育に関する表彰について、被表彰者を別紙のとおり決定するものです。

提案理由としましては、日置市社会教育に関する表彰規程第4条の規定により、推薦された個人または団体を決定するため、日置市教育委員会の行政組織等に関する規則第10条第14号の規定により提案するものでございます。12ページをご覧ください。

別紙で、日置市社会教育に関する表彰規程という資料をお配りしておりますので、こちらに従って説明させていただきます。

個人と団体ということで、今回は個人10名、団体を2団体表彰いたします。時間の関係もございまして簡単に表彰者の説明をさせていただきます。

1 番目の内匠勝三氏ですが、鹿児島市に在住しておられます。平成5年に旧伊集院町ジュニアオーケストラの中心的役割をしていただきました。平成28年3月に勇退されるまで、多くの団員を指導、輩出し、本市の芸術文化の高揚に寄与されたということで、表彰規程第2条第3号に該当するということから、表彰をいたします。

2 番目の有馬求氏ですが、旧伊集院町の図書館協議会委員を平成7年から、旧伊集院町の図書館長を平成10年から兼任され、平成17年9月から平成27年8月末まで日置市図書館協議会長を務めていらっしゃいます。表彰規程第2条第2号に該当するため表彰いたします。

3 番目の松崎弘安氏ですが、平成21年度から平成25年度までの5年間、伊集院清藤自治会の会長をされていらっしゃるということで、表彰規程第2条第1号に該当することから表彰いたします。

4 番目の橋口正太郎氏ですが、平成18年から10年間伊集院町向江町自治会会長をされていることから、表彰規程第2条第1号に基づいて表彰いたします。

5 番目の新町静男氏ですが、平成23年度から5年間伊集院町朝日ヶ丘自治会長として運営にあたっておられます。表彰規程第2条第1号に基づいて表彰いたします。

6 番目の桑木野二雄氏ですが、永年にわたり桑木野自治会長、桑木野区長・高山自治会長、地区公民館役員などを歴任され、地域の発展、地域づくりの推進に尽力されました。表彰規程第2条第1号に基づいて表彰いたします。

7 番目の吉村武文氏ですが、きれいな地域づくりを目指し、鶴丸園芸講座講師などを永きにわたって担当され、地区公民館の運営にも携わって発展に貢献されたということで、表彰規程第2条第1、2、3号に基づいて表彰いたします。

8 番目の坂井昭夫氏ですが、平成8年から現在まで、少なくとも20年以上に渡って鹿児島弁を用いた紙芝居や童話を作成し、ボランティア活動も続けてこられました。表彰規程第2条第4号に基づいて表彰いたします。



9番目の阿部敦子氏ですが、永年にわたり地元地区公民館等のスポーツ活動の普及や健康づくり活動に積極的に関わり、区内ただ1人の運動普及推進委員として大いに貢献されているということで、表彰規程第2条第4号に基いて表彰いたします。

10番目の井上克己氏ですが、平成18年度から亀原自治会長を務められ、地区公民館長、地区役員として地域スポーツ活動や、高齢者の見守り、健康づくり活動に貢献されたということで、表彰規程第2条第1号に基いて表彰いたします。

次に団体ですが、「本読み会ぷち」ということで、代表は牧枝路代氏、事務所の所在は伊集院町です。平成16年4月に発足し、妙円寺小学校において朝、昼の読み聞かせなどの読書活動を通じて子どもたちの読書活動推進をされたということから、表彰規程第2条第1号に基いて表彰いたします。

団体の二番目は「吹上地域食生活推進員会」です。代表者は有村ツヨ子氏で、事務所所在地は吹上町となります。地区公民館講座「男性料理教室」の講師をはじめ、各種健康講座の講師、ふるさと学寮等の社会教育事業などの調理指導等を行い、吹上地域の食卓を支えてきたということで、表彰規程第2条第1号に基いて表彰いたします。

以上で説明を終わります。

内村委員長：ありがとうございました。

今説明がございましたが、表彰はいつされるのでしょうか。

平地課長：今年度開催いたします、日置市生涯学習推進大会での表彰を考えております。大会については後ほど説明いたします。

内村委員長：分かりました。他にございませんか。

(異議なし)

内村委員長：異議がないようですので、議案第14号日置市社会教育に関する表彰については、可決いたしました。

**【議案第14号 可決】**

**議案第15号日置市いじめ防止対策連絡協議会委員の任命について**

内村委員長：続きまして、議案第 15 号日置市いじめ防止対策連絡協議会委員の任命について説明をお願いします。

豊永課長：日置市いじめ防止対策連絡協議会等条例第 5 条第 1 項の規定により、別紙のとおり日置市いじめ防止対策連絡協議会委員を任命したいので、日置市教育委員会の行政組織等に関する規則第 10 条第 15 号の規定により提案するものでございます。

別紙にありますように、7 名の方に協議会の委員として委嘱し、10 月 31 日（月）に第 1 回の連絡協議会を開催いたします。内容につきましては、昨年の定例教育委員会で藤田指導主事から説明がございましたので、割愛させていただきます。

市のいじめ防止対策基本方針の確認、市におけるいじめ防止対策の取組状況などを説明し、委員の方々からご意見を頂くことになっております。詳しい内容については附属機関等の報告事項で報告させていただきたいと思っております。以上です。

内村委員長：ありがとうございます。今説明がございましたが、何かご意見はございませんか。

（異議なし）

内村委員長：異議がないようですので、議案第 15 号日置市いじめ防止対策連絡協議会委員の任命については、可決いたしました。

【議案第 15 号 可決】

## 5 その他

### （1）事務局からの報告

（事務局より説明）

### （2）附属機関先の報告事項

豊永課長：前回の定例教育委員会で教育長から議会報告がございまして、その中にありました「障害者差別解消法の趣旨」と「本市における特別支援教育の現状」の 2 点について説明を求められたので、担当の徳永指導主事に来ていただいて説明をいたします。

内村委員長：それでは、徳永指導主事説明をお願いします。

徳永指導主事：私の方から、「障害者差別解消法提言の背景」と、「本市における特別支援教育の現状と課題」について説明をさせていただきます。

別紙の2ページをご覧ください。

平成18年度のところに、国連総会において「障害者の権利に関する条約」が採択されたということをもとにして様々な法律等が制定されております。

インクルーシブ教育システムというものがございいますが、簡単に言うと「障害に関わらず、同じ場で学ぶ教育の体制づくり」ととらえて下さい。18、19、23、24、25と来て、平成28年に「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律」ということで制定されております。

背景としては、特別支援教育の対象の概念図を見ていただければ分かるように、児童生徒数は減少傾向にあるにもかかわらず発達障がいの可能性のある生徒は増加傾向にあります。これを受けまして、インクルーシブ教育システムというものを構築する必要がでてきております。以上のことを受けまして、「障害者差別解消法」が制定されました。

目的としては、全ての国民が障害の有無によって分け隔てられることなく、相互に人格と個性を尊重しながら共生する社会の実現に資することを目的としております。

具体的には、不当な差別的取り扱いを禁止する、合理的な配慮の提供等がございします。合理的な配慮については、11ページをご覧ください。合理的配慮と基礎的環境整備を進めていかなければならないのですが、基礎的環境整備は共通性ということで、全ての人に関わるような整備となります。

次の個別性が、合理的配慮のポイントになります。3観点で11項目ございします。配慮と合理的配慮の違いとしては、障がいがある本人及び保護者からの申し出を受けて学校が行うもの、個別の状況に対応するものであるといった点が配慮とは異なっております。

14ページをご覧ください。合理的配慮というのは、理にかなった変更・調整といったように、意思表示があったとおりの合理的配慮

ができなくても「どんな配慮を、どこまでならできるか」を本人・保護者と合意形成することが大切ということです。こういった配慮をしてほしいと言われたら、全部はできないけれども、できることはやっていくとことになります。

具体的な取組のデータがほしいということで、文科省もホームページを開設して、全国の合理的配慮の事例を載せております。

17、18 ページは、発達障がい児の保護者がこういった申し出があったらどうしたらよいのかといったことを掲載しています。

22 ページですが、障害者差別解消法でどう変わるのかといったことですが、教師の理解啓発、保護者の理解啓発、障がいに対する誤解や偏見が無くなっていく、合理的配慮という定義が明確になっていく、教室のバリアフリー化が進んでいくといったことが進められていくとされています。

25 ページをご覧ください。合理的配慮の提供ということで、鹿児島県教育委員会がパンフレットを作成しております。

1 ページにお戻りください。本市の特別支援教育についてですが、組織図を見ていただきますと、乳幼児期から小学校、中学校、高校まで、早期から一貫した支援体制ができるようにこういったシステムが構築されております。

現状と課題ですが、未就学児の実態把握についてということで、きめ細やかな早期からの支援として、様々な取組がなされています。課題としては、支援員の要請増の対応や、小・中学校の受け入れ体制（意識面、施設・設備面）の向上、LD・ADHD通級指導教室への対応、中学校の通級指導教室の必要性、合理的配慮についての研修の充実と啓発などが課題として挙げられております。

以上で説明を終わります。

内村委員長：ありがとうございました。

今説明がございましたが、何かご意見はございませんか。

豊永課長：本来でしたら、時間をゆっくりとって検証していただきたいところですが、限られた時間でございますので、また読んでいただくようによろしくお願いいたします。

内村委員長：分かりました。

それでは、障害者差別支援法については、改めて検討ということ  
でお願いします。

### (3) 日置市立幼稚園運営検討委員会（経過報告）

内村委員長：続きまして、日置市立幼稚園運営検討委員会（経過報告）につ  
いて説明をお願いします。

馬場係長：9月5日に第1回の幼稚園運営検討委員会を開催いたしました  
が、その時の説明内容及び各委員からの意見を説明させていただきます。

具体的な協議内容についてですが、この検討委員会を開催する必  
要性1つ目としては、日置市立幼稚園適正規模等の基本方針という  
ものがございませう。これは平成24年7月に制定された内容で、基  
本的な統廃合の考え方というものがございませうが、1園の現児童数  
が2年続けて15人未満の場合は統廃合を検討するというところで、  
以前伊集院北幼稚園で検討をして廃止をしたという経緯がござい  
ませう。

今回は、日置小附属幼稚園ですが、平成26年度が12人、27年  
度が10人、28年度が7人ということで、まずは日置小附属幼稚園  
について検討しなければならないということだす。

2つ目に、26年度から新しく「子ども子育て新制度」が施行さ  
れ、今まで保育園と幼稚園はそれぞれ運営を行ってきましたが、国  
の方で、子どもと子育てに関しては保育園と幼稚園が1つの受け皿  
として計画を立てて待機児童等の解消に努めるということで26年  
度から施行されました。

子ども子育て支援計画という表に、31年度までの数値目標がご  
ざいませうが、量の見込みというのが実際利用するであろうという見  
込みだす。そうした時に、確保方策というものがございませうが、こ  
れは公立幼稚園及び私立幼稚園が受け入れ定員数でございませう。し  
たがって、利用する数、受け入れられる数を見た時に、十分余裕が  
あるということになりまして、数として200を超えています。

保育園の方は、27年度の見込みが711、定員が662ということで  
42足りないということになり、状況を見た時に環境が全く違ふと

ということになりますので、国においては、お金を保育園の方に配布をするという考え方が出てきましたので、これについて全体的に公立幼稚園の在り方を検討するという事です。

現状と課題ですが、現状としては高齢化社会の状況で、5歳、4歳、3歳の数が減っていております。各地域別の最近の幼稚園入園人口でございますが、全体的に減っている状況です。保育園・幼稚園の利用数については緑の線をご覧いただきたいと思いますが、保育園幼稚園を利用している保護者の方がどれくらいの割合で利用しているかという数値でございます、9割ほどの世帯で保育園・幼稚園のいずれかを利用して、年々少しずつ上がってきております。これは近年の経済状況により、共働き世帯が増加しているということからだと思われまます。

公立幼稚園及び私立幼稚園の利用数です。幼稚園別に分かれておりますが、平成25年5月では、公立幼稚園のみで107人いましたが、今年度の5月は87人ということで少しずつ減少しております。私立幼稚園（朝日ヶ丘、伊集院、吹上中央）は、現状維持を保っています。

県外の方ですが、私立幼稚園の方が増加していて、公立幼稚園は少しずつ減少しています。27年度が大きく減少しているのは、認定こども園に移行したことに伴いまして数が減少しております。

運営状況については、日置市立公立幼稚園の決算額から打ち出した額を見ると、人件費が894千円、その他経費で81千円ということで、トータルで976千円かかっていますが、全国的な平均で比べると、公立幼稚園は510千円、私立幼稚園は560千円しかかかっておらず、日置市はかなりお金がかかっている状況です。

幼稚園ニーズの見込みと確保方策なのですが、27年度と28年度で実数が変わっておりますが、先ほどのものは計画で、こちらが実数でございます。27年度実際に利用された数は500人、受け入れ人数は720人なので、220人の定員割れが生じているということです。仮に公立幼稚園の受け入れ人数210人をなくしても10人の定員割れが生じるということです。

28年度も520人が利用しておりますが、定員が720ということで定員割れが生じております。課題としては、今後の公立幼稚園の意義及び役割の検討が必要であると思われまます。

認定こども園は、日吉の明信寺保育園、妙円寺の妙円寺保育園が認定こども園に移行しましたので、先ほどの3幼稚園に加え2つの認定こども園の運営となり、さらなる定員割れが生じるということです。

今後は、平成52年度までに日置市の将来人口の0～4歳、5～9歳も減ってきている状況でございます。また、保育料についても、公立幼稚園が非課税世帯3千円、所得割課税世帯の場合に5.7千円の保育料を徴収しております。ただ、私立幼稚園は均等割のみの課税世帯から9,700円、所得割課税は13千円、17.6千円、上記以外に22.8千円ということで、送迎バスなどのサービスを除いた幼稚園運営のみを考えると、同じサービスを提供しているにもかかわらず金額が上がっているということになります。

国の見解としては、最終的には市町村が判断するものなのですが、国が定める所得階層の区分どおりとする必要はないが、国が定める上限は公私共通の基準となるために、それぞれ考えるようにということと、県の子ども子育て支援会委員からの意見として、「同じ新制度になるのであれば、保育料も公立幼稚園と私立幼稚園が同じになると考える。保育料が公私で違うのであれば、違う理由を説明していただきたい」といったことが各市町村に通知されております。

私立幼稚園の利用者割合を示した平成26年度の数値でございますが、所得が極端に低い若しくは高い方については、就園奨励費という補助金を受けており、ある程度の負担軽減はされています。しかし、公立幼稚園の場合は、所得が高い世帯ほど公立幼稚園の恩恵を受けており、不公平感が生じてきております。

27年度の決算額を収支で考えた時に、公立幼稚園は交付税で34,000千円、保育料で5,800千円ございまして、トータルで約40,000千円のお金が入ってきております。そこに先ほどの人件費83,000千円、建物維持管理費で7,500千円、トータルで90,000千

円支出しています。差引をすると 50,000 千円一般財源に手出しをしています。

この手出しが、今後合併算定外で平成 31 年度までにかけて 2 億円ずつ減ってきますので、その中で 50,000 千円という金額を毎年出して良いのかということを検討しなくてはなりません。職員配置もすごく少なく、東市来幼稚園は 45 人の児童と 5 人の職員がいますが、計算すると 1 対 9 でみているということになります。日置小附属幼稚園も 4 人の園児を 1 人の先生が見ている状況であり、私立の場合は 2 桁になってしまうので、そこも検討しなくてはなりません。

それから、建物については、今後 40 年間で 118.4 億円相当の建物を維持改修をしなければなりません。公共施設の総合管理計画をみると、毎年 34 億円ほどの維持改修が必要とのこと。東市来幼稚園が築 41 年、飯牟礼が 47 年、土橋が 47 年、日置小附属が 38 年ということで、建物自体の改修もしなければいけないということです。

この管理計画の中で、45 年以上経過した建物については、複合化及び統廃合の推進を図り、30 年以上の場合は今後の方向性を検討することということです。先ほどの計画の中で、幼稚園については将来の人口動態を考慮したうえで、施設の統廃合、複合化を行うとともに、民営化が可能な場合は民営化を検討することです。

総合的な課題としたしましては、公立、私立間において同じ幼児教育でありながら保育料に差があり、見直しが必要である。併せて、私立幼稚園のみのサービスも均一化を図るために必要である。建物についても収入源があるので、福祉補助費等の増加を含めながら維持管理を検討するといったこととございます。

色々な事例もございまして、福岡市は市立幼稚園をすべて廃止しており、熊本市も基本は統廃合ですが、その中でも差別化を図るために、ある園ではコア幼稚園というものを設置し、特別支援の受入れ充実を図っていきながら、先生の充実も図っていくということです。また、神戸でも統廃合の実施や、特別支援の受入れ充実を行っています。



今後の公立幼稚園の方向性としては、児童発達支援事業所が5年前は2ヶ所しかございませんでしたが、今は5ヶ所ございますので、幼稚園に通いながら、こちらの事業所に通っている子供が増えています。平成25年度からみると、去年は135人利用されていますので、そういったことを手厚くしていきたいと考えています。

文科省としては、以前、低所得者層のアフリカ系アメリカ人を3歳児の子どもを対象に、集中して幼稚園教育を行い40年間にわたって追跡調査をした結果、14歳で基本的な動作ができる子どもの割合が高くなり、高校を卒業する割合も、幼稚園教育を受けた場合の方が高いということがあり、このままいくと幼稚園自体が潰れかねないということから、文科省としては投資を行っていきたいという状況でございます。

我々の方で進めております小中一貫教育については、保育園、幼稚園と小学校の円滑な連携を図り、小1プロブレムの解消を促すといったことを含めた形で今後の幼稚園を考えなければいけないと思っております。

今後のイメージとしては、第1回開催の際には、課題を説明いたしまして、第2回で、委員の皆様の見解と保護者へのアンケートを実施し、集約しておりますので、そこを含めた形で方向性を検討する予定でございます。

以上のような説明を第1回に行いましたが、特に大きな質問はございませんでしたが、意見としては、「今後、子育て会議があるが、そことの関連をどう付ければよいのか」という質問がございましたが、今後の子育て支援計画とリンクさせなければいけませんので、承認を得ながら会議を進めていきたいと考えています。

以上で説明を終わります。

内村委員長：ありがとうございます。今説明がございましたが、何かご意見はございませんか。

比良委員：日吉地区の定数が減っていることについては、意見はありましたか。

馬場係長：特にはございませんでした。第2回の開催時に意見があるかと思えます。

比良委員：ゆくゆくは、公立幼稚園をなくして、発達障がいを持った子どもたちのために残しておき、私立に移行するといった流れになるのですか。

馬場係長：鹿児島県内は今から検討を行いますが、第1回の開催時は南九州市の職員も状況を話して、次回も見させてほしいという連絡もありました。他の市は実行しているところもございいますが、小さな市は状況を見ながらということで、財政的にも厳しい状況ですので、方向性を今後検討したいと思っています。

内村委員長：東市来幼稚園が入園説明会の時にそのような話をしたということですが、日置小附属幼稚園はどういった状況ですか。

馬場係長：今後の手続きの流れとしては、検討委員会で方向付けを行い、答申内容を受けて教育委員会で時期を見極めて決定するという形になるかと思います。

内村委員長：分かりました。他にございませんか。

(異議なし)


内村委員長：異議がないようですので、日置市立幼稚園運営検討委員会（経過報告）については終了いたします。

## 6 閉会

内村委員長：以上を持ちまして、平成28年度10月の定例教育委員会を終了いたします。

お疲れさまでした。

終了

署名委員 比良信幸 

署名委員 折田智子 